

●トラック1:CV 秋野かえで様

●背景:図書室(夕方)

(紗々希、図書室の受付にいる)

こんにちはー。

(主人公「大野さん？」)

え？ はい。

あなたは……あ、別の組の……。

私が大野ですけど……図書室に用事——だよね？

(主人公「いや、キミに用があるんだ」)

へ？ 私に用？

(主人公「率直にお願いします。抜いてください！」)

……へっ？

ぬいっ——え？ 抜いてって、あの……な、なにを……。

(主人公「チンポですよ！」)

チンツ——！？

なに言ってるの！？

ここ図書室だよ！ 変なこと言うなら出てってて！

(主人公「大真面目です！」)

ま、真面目！？ どこが！

そういう下品なお願い、聞く価値ないよ！

出てって！

(主人公「は、話だけでも……！」)

な、なんで食い下がるの……。

ハア……。

なにか、ワケ有り？

わかったから。ついてきて……。

事情くらいは、聞くから。

(場面移動)

●背景:図書準備室(夕方)

さ、ここなら大丈夫だよな。

……座っていいよ？

ここ、図書準備室だから委員の人以外はこない。

今日は担当、私だけだからさ。

あんな話、ほかの人に聞かれたくないし……ね。

……それで。

どうということ？ 私に、その……抜いてほしい、って……。

(主人公「俺、漫画研究部なんです」)

漫画研究部？

たしか、文芸部から派生してできたやつだよな。

それで？

(主人公「エロ漫画書いてます」)

……え、エッチな、漫画、を……。

その……年齢的に——うーん……いやっ、いいよ。続けて？

(主人公「で、フェラの感触を知りたくて！」)

……ハア。わかった。うん、わかった。

ようするに、エッチの経験がないから……舐めてほしかったんでしょ……？
んう……そういうのは彼女に頼むものだよ？

(主人公「無理ですよ！ いないし！」)

い、いないとか私の知ったことじゃないよ……。
私も別に、お付き合いしてる人はいないけど……、
だからって、知らない人の、な、舐めるとか……そんなの無理……。

(主人公「そこをなんとか……！」)

……う～ん。
……み、見るくらいなら、なんとか……。

(主人公「へっ？」)

だっ、だからっ、見るくらいだったら……！
勝手に、自分でしててくれるのを見るのだったら、って、意味で……。
少しくらいは……興味ある、ので……。
ひゃっ！
行動はやいね……。

(ペニスが出る)

う……っ！
い、一瞬見ちゃったけど……お、大きくなってる……？

わっ！ すぐ始めるね……っ。
んう……み、見るよ……？

……そ、そうやって、するんだ……？
一人っ子だし、彼氏もないから……見たのも初めてだけど……。
結構……お、大きいんだね……？

(主人公「近づいてください」)

……え？
近づく？ 私が？
……触るのはダメだからね？

これで……どう？
音聞だけでも恥ずかしいから……、
ほんと、ごめんね？ くつつくだけで許してね。

(主人公「処女？」)

……そ、そりゃあ、処女、だよ……。
んう……告白はされるけど、あまりお付き合いする気になれないから……。

(主人公「学園1の美女なのに」)

……が、学園イチの美女？
それは、言い過ぎじゃないかな……？
3年の西篠さんの方が、気品あるし、綺麗だよ？

(主人公「おっぱいは大野さんのがデカイ」)

お、おっぱいはって……。
ハア……そこで買っても嬉しくないよ……。
というかそれ、絶対西篠さんに言っちゃだめだよ？
んう……私も、聞かなかったことにするし、
これも……私の記憶に留めとくから……。

ふう~~~~~。
……あつ、ごめんね？
くすぐったかった？

(主人公「もう一回やって」)

え？ もう一回？
はああああああ。

もしかして……気持ちいいの？
……んう、よくわかんないなあ。
……はあ……どうしてそっちのが余裕あるの～……？
おちっ——んう、大事なところ見せてるのに……、
んう、す、すごく、硬そうにしてるし……。

もう終わらせて……。
音が、なんかキツイ……。
夢で、この音思い出しそう……。

……ん。
最後くらいは……っ、

み、見るよ……？
んう……ふう、ん……うう……っ。
こうやって……ん、出すのかって思うと……ん、ん、いままで、
私をオカズにして聞いてた噂とか……ん、すごく、恥ずかしくなるね……。

ん、う……………う……。
ん……もういいよ。
出して……。
……あ、待って。どこに出すの？
いま出したら、私の足——

(膝辺りへぶっかけ射精)

ひゃっ！
ちよっと！ んもおおっ！
足にかかっちゃった！

出すなら出すってちゃんと言ってよ……っ！
あっ、うう、スカートにもかかっちゃった……。
はあ～……もおおお……ッ！

せっかく見てあげたのにこんな仕打ちないよ！
最悪……っ！

後片付けはひとりでして！

●トラック2:CV 西瓜すいか様

●背景:教室(夕方)

(放課後、教室で待っている主人公)

(遅れて耀子来る)

アタシが来た！

どう？ 待ったッ？

ふう～～……。

で、呼び出しの理由はなーんだ？

あ、もしかして告白う～？

夕焼けをバックにアタシのハートをゲットしよーって魂胆かぁ～？

(主人公「近いつちゃ近い」)

へっ！？ 近いのッ！？

ぐあ～～～ッ！

なんだなんだ？ めっちゃ気になる！

教えてっ？ なになに？

(主人公「フェラしてくれ！」)

はっ！？ フェラっ？

……フェラっ？

ちよいちよいちよい！

全然近くないじゃん！ えっ？ なんだ？ フェラで抜いてくれってこと？

付き合っていないのに？ どーいう了見だよ！

(主人公「漫画研究部としての資料ね」)

漫研……あ～……そーいやアンタ、エロ漫画書いてるんだっけ？
え～～～～……。

やだ！
チンコ舐めたことないもん。

(主人公「彼氏は？」)

彼氏はいない！
恋愛にキョーミないし！

(主人公「経験してみよう」)

ハア～～～？
経験とか要らないんだけど～？

(主人公「そこをなんとか！」)

……あーっ、あーっ、あ～～～っ。
いい加減折れろっつーの！
うるさ～～～～いッ。
ヨーコちゃん、キレた！
もう催促ばっかうるさいやつは——
こうだ！

ダッハッハッ！
ひゅ～ひゅ～♪
パンツ丸出し～っ♪
脱がしちゃうけどね～♪

おわっ！
でっつつか！

ケダモノだ！
なんでアタシにこーなるんだ？
どー見てもビンビンになる女じゃないでしょ～。

ま、いいや。

部活で忙しいんだからさっさと終わらせるぞ！

(舐めフェラ開始)

れろれろれろっ、これでどうだ～？

れろっ、ちゅんん、ちゅん、ちゅッ……れろれろれろ、んん、ちゅんん、ちゅ。

チュッ……んんん、ちゅん、ちゅ、んん、チュッ。

れろれろ、どーしてこんな、れろ、れろッ、ちゅう、ちゅ。

フェラしてほしいの？

ちゅう、ちゅん、ちゅ、ちゅう、ちゅ、男的には、ちゅう、ちゅ、んむう、チュッ。

マンコ入れたいとか、そーいうんじゃないの？

れろれろれろ……んん、ちゅんん、チュッ、ちゅるる、んん、ちゅんん、ちゅ。

ちゅんん、ちゅんん、ちゅ……れろれろ……ちゅんん、ちゅッ。

れろれろ、ちゅ、ちゅう、ちゅ、

ま、ちゅう、ちゅ、ヨーコちゃんのマンコは、ちゅうう、ちゅん、ちゅ、

そんな安くないけどね～。

ちゅん、んん、ちゅん、ちゅ。

ちゅんん、ちゅる、ちゅ、あ、ちなみにパイパンだよ？

ちゅうう、ちゅ、まだ毛え生えてない。

ちゅんう、んむ、ちゅ、ちゅるる、ちゅ、なんでだろーね？

ちゅんう～～、ちゅ、陰毛、憧れてんのにな～。

ちゅく、ん、ちゅ……れろ、れろ、ちゅん、ちゅんん、ちゅ。

ちゅん、ちゅ……れろ、れろ、んんむ、ちゅん、チュッ。

れろ……れろ、んん、ちゅ、んんむ、ちゅ……んん、ちゅううう。

ちゅる、ん、ちゅ、つーか大丈夫？

れろれろ、んん、ちゅんん、ちゅんん、ちゅ……めっちゃ震えてるけど。

れろれろ、ちゅんん、ちゅる、チュッ。

んんむ、んんん、ちゅ……んんん、れろれろ、ちゅんん、ちゅるっ。

んむ、ちゅ……ちゅ、出そう？

れろれろ、れろっ、ちゅん、チュツ、ちゅ。

さては童貞だな～？

ちゅんんうう、ちゅっ、アタシ、雑魚なのに、ちゅうう、ちゅ、こんなフェラですぐイキそうになつてゐるし～笑

れろれろれろ、ちゅん、ちゅん、ちゅ……れろれろっ、ちゅん、ちゅっ。

あ、そうだ。

(睾丸揉み開始)

れろれろっ、ダツハツハ……♪

ちゅんん、ちゅ、金玉揉んでやったぞ～♪

ほらあ、もみもみ♪ れろれろれろ、ちゅうんん、チュツ、れろッ、チュウツ。

れろれろ、ちゅんん、チュツ……んう～～～っ、ちゅんん、チュツツ。

金玉重くな～い？

ちゅん、ちゅん、ちゅっ、アタシ、ちゅ、ちゅっ、ふざけてダチのチンコ揉むけど、ちゅん、ちゅ、チュツ、んんむ、ちゅ、こんな重かったかな～……？

(主人公「も、揉むの？」)

ちゅんん、ちゅ、ちゅん、ちゅ、そーだよ？

れろれろ、ちゅう、ちゅ、金玉揉む笑

ちゅん、ちゅ、少しでもおっぱい見たら、ちゅう、ちゅ、その罰だ♪

れろれろれろ、ちゅんう～～～っ、ちゅんん、チュツ！

ちゅんううう、ちゅ……れろれろ、んん、ちゅんん、ちゅうう、チュツ！

れろれろっ、ちゅん、ちゅっ、金玉揉んでから、んんむ、ちゅ、

ちゅう、ちゅ、チンコ熱くなってきた笑

れろれろっ、んんむ、ちゅんん、チュツ。

れろれろっ、ちゅんん、ちゅるるる、ちゅん、ちゅっ。

ふう……んむうう、ちゅん、ちゅう、れろれろちゅん、ちゅ。

出したいなら出しちゃえば～？

れろれろれろ、ちゅん、ちゅん、ちゅ……んんむ、ちゅ。
れろれろッ、ちゅんくう、ちゅ、んむ、ちゅ……ちゅう~~~~~ッ！

(顔へぶっかけ射精)

ひゃわッ！
うううう~~~~~ッ！

アンタあ……っ、ぶ、勝手にぶっかけるなあ……！
うぷうう……ふう、ふう……すごい、びしょ濡れなんだがぁ……？
んうう、ん……ッ。
この顔でキスしてやる～……！

(主人公「や、やめて！」)

やだ！ やめない！
ほら、チュー！
チューしてやるぞ！

あ、逃げるな～～！
チューしろ~~~~~！

●トラック3:CV 乙倉ゆい様

●背景:昇降口(夕方)

(希生(きお)、昇降口にやってくる)
(主人公「あの～！」)

ん？

(ここまで駆け足)

誰？ 後輩？

面識ないよね。

(主人公「あのっ、ひとつお願いしていいですか？」)

お願い？

……やだ。めんどい。

(主人公「なにも言っていないじゃないですか！」)

いや。めんどいってことくらい聞かなくてもわかる。

(主人公「ちょっとでいいので！」)

ちょっと？

ハア。しつこい。

なに？ ほかの人には声かければいいでしょ。

(主人公「よかったらフェラしてもらえないですか？」)

……は？

ふえら？

(主人公「し、知ってますか？」)

……あ。

し、知ってはいるけど……。

なんで？ それ、彼女にお願いすれば？

(主人公「童貞ですよぼく」)

ん……？

童貞？

(主人公「はい……」)

……ふうん。

……………気が変わった。
ついてきて。

(場面移動)

●背景:屋上前階段(夕方)

(希生、先に屋上前のドアで待つ)

もっと近づいて。
ふう……………勘違いされたら面倒だから言う。
アンタに感心ないし、フェラしてほしいとかどうでもいい。
それ、叶えてやる気ない。
でも——
童貞、利用させてもらう。
ん？ これ——

(ふにゃふにゃのペニスが外に出る)

萎えてる。
勃起してよ？

(主人公「あの……フェラしないんじゃ……」)

フェラ？ うん。しない。
その代わり——
あー……。
ふう～……。
唾液つけてあげたからあとは勃起して。

(希生、ドアに手をつく)

入れていいよ？

(主人公「え……？」)

だから入れていいって。
入れ方知らない？ マンコの。

(主人公「なんで……」)

いちいち理由説明しなきゃダメなの？
いま入れなきゃ帰る。
……そう。童貞貰ってあげるんだから、遠慮しない。

ん……。
勃起してる……。
やっぱり……挿入は男のロマン？

ん…………ん……。
さ、来て。生でいい。
ん…………。

ちなみにアタシ処女じゃない。
遠慮なくていいよ。
ん……っ。
ん……期待よりは、ん……よさそう。

んっ……！
んうう……う……んうう……っ。

(根元まで挿入)

はあ……。
ん……ふうう……んく、ん……ん……。

好きに動いていいよ。
あと、乳も好きにして。

あっ……！
ん……ふう……ん、う、ん……。
ふう……ん……ん…………んん、うん、ん……。

ふう……んく、ん……んん……。

ん……っ！

そう……ふう、ん……んん、ん……。

勝手に乳揉んで……ん……ん……硬くすればいい……。

ふう、ん、ん……んん、ん……。

ん……っ、はあ、はあ……ん、ん……揉んでから、

ん、んうう、ますます硬さが……。

ふう……んん、ん……んく、ん……んう、ん……。

ン、ふう、んん、ん……ん、ん……。

で……んん、ん、っ、ん、アンタ、なんで抜いてほしかったの？

(主人公「漫画研究部で……知りたくて」)

ん、んっ……ふうん？ 知りたかった？

あつそ……んん、ん、んう……なら、ママ活でもすればいいのに。

ん……ふう、ん、ん……んく、ん、ん……。

ん、んっ、ん、う、ん……いいチンコ持ってるから……、

ん、んう、ん……ん……チンコ晒して、ん、んう、身売りしてみれば？

んう、ん……ふう……ん、ん……。

ふう……ん、んく、ん……ふう、ん、んう……。

あ……ん、ん……ふう、ん……ん、ん……んう、ん、ん……。

ふう……ん、ん……てか、その動き大丈夫？

ん、んう……早く動いたら、その分すぐ出ちゃうよ？

んう、ん、ん、めんどいし、2回戦とか付き合わないから。

(主人公「なんで、やらせてくれるんですか？」)

ん、んう、ん……ん、やらせてた理由、知りたいの？

んう、ん、あつそ……。

ふう、ん、ん……それより、ん、んう、イキたいならもう出せば？

童貞チンコだし……んん、ん、んう、ん、ん、我慢できないでしょ。
ん、んう、ん、ん。

(主人公「ど、どこで出せば……」)

ん、んう、ん、どこにつて——
中に出せばいいじゃん。
ん、んう、ん……、ん、いいよ別に。
ん、ん、それに、ん、ん、ザーメン、外に出しても、ん、んう、
汚いし……ん、んく、ん、処理できないし。

ふう、ん、んう、ん……ん、ん。
んう、ん……ん、ん、んう……ん。
来な……ん、んう。

んうう、んん、んう、ふうう、ん、んうツ。
んくう、ん、んうう……ん、んう、んう、ツ。

んう、ん、ん……ふう、ん、んう……う。
出して。ん、ん、んう、時間ないから、ん、んう、早く……。

(同時絶頂)

んううう……ツ。
ん……ん……出てる？
ん……ふうう、ん、アタシも、ん、う、ん……イツた……。

ふう、ん、ん……んん、ん……。
ふう、んん、ん……ん……。

はあ……ん、ん……。
じゃ、デキたら責任よろしく～。

(主人公「えっ？ 出していいって言ったのに」)

んう、ん……は？

出していいって言ったけど……責任取らなくていいとは言っていない。
んんう、ん、ほら、三年は進路でしょ？

就職も進学もめんどいし……、
早く家庭入ってラクしたいんだよねー……。

童貞なら、ほかの女と取り合いの心配ないし……アタシしか女いないでしょ？
んう、ん……ま、デキた時は結婚ね。
その時は……マグロでいいならやらせてあげるよ。

●トラック4:CV 海音ミツチ様

●背景:トイレ前(夕方)

(遅れて主人公が正面から向かう)
(主人公「おーい」)

へっ？ わ、私になにかぁ……。

(主人公「神保、いま帰り？」)

私は……美化委員の仕事があるので、
そ、それやってから帰る感じがすがぁ……。
先輩は……？

(主人公「じつはお願いして回ってるんだ」)

お願い？
お願いの行脚(あんぎゃ)って……それ、誰でもいい感じのお願い、ですよ？
私にも、なにか頼むつもりですかぁ……？

(主人公「フェラをしてくれ！」)

……え？

ふえら……？

あ、あの……ふえらって、なんですか……？

(主人公「チンポを口で舐めるやつ」)

へっ！？ く、口でッ！？

むむむむムリムリムリ！

いいいいくらご近所さんとか、先輩とかっ、そういうバフがあったとしても、
わ、私なんかに舐められたら可哀想じゃないですか……！

(主人公「舐めるのはいいの？」)

ち、違います！

舐めるのはいいわけじゃなくてえ……。

(主人公「頼む！」)

あああ……！

そんな頭下げないでくださいい……！

(主人公「俺の将来のためにも！」)

しょっ、将来のためって言われても～……っ。

う～～～～～っ。

どうしよう、どうしよう……。

う～～～～～……。

はああ……。

あっ、あのお……っ、す、少しだけ、なら……。

トイレで、い、いいですかあ？

(場面移動)

●背景:女子トイレ(夕方)

狭いけど……我慢してください……。
えっとお……舐め、でしたっけ……。？
ごめんなさい、舐めるのは無理です……。お、おちんちん、可哀想ですし……。
その……。っ、て、手で、いいですか？

(主人公「いいよ？」)

あ、ありがとうございます——
ひゃ……。っ！
あ、そ、そっか、出さなきゃ始まらな——

うううう……。っ！
おおおおおちんちんおちんちん……。っ！
み、見ても、大丈夫ですかぁ……。っ！？
い、いきますよっ？
いきますよ……。っ！
さんっ、に、い、いち……。っ！

う、うううう……。っ！
これが、な、生身の、おちん、ち……。っ！
こんな黴かなもの……。っ、私みたいな小娘が握ってもいいんですか……。？

(主人公「握って」)

は、はい……。っ、失礼、します……。っ！

(ペニスを握る)

うううう……。っ！
熱い硬い熱い熱い熱い……。っ！
大丈夫なんですかこの熱う……。っ！
せ、先輩い……。っ、なにか病気なんじゃ——

(主人公「いいから」)

(主人公、文弥に手コキを強要させる)

あつ……っ！
ご、ごめんなさい……っ！
焦らしたつもりじゃ……っ！
はあつ、はあ……っ、て、手え、離していいですよ……っ？
私、やります……っ！
やらせてください……っ！

ふう、ふう……うう、ん、うう……ツ。
これは……ん、ん……で、出るんですよね？
あ、あれが……。

んう……うう……あれが出るまで、続ければいいんですか……？
ふう……んう、ん……。

(主人公「手じゃなあ」)

……え？
手じゃ、ダメですか？
んん、ん、で、でも……私がおちんちん舐めたら、ん、う、ん、
昼食に食べた、コロツケパンの味が、くっついちゃいますし……んん、う、ん、
口、そんな開かないから……あ、顎が、外れちゃいます……。

(主人公「挿入は？」)

んう……そ、挿入？
え？ んう、あの……え？
挿入？

(主人公「マンコに入れたい！」)

まつ……！
おま……んこ？
んう……で、でも……私達、ただのご近所さんですよ……？

お、おちんちんだって……こんな芋みたいな女の中に入ったって、
なにも嬉しくないんじゃ……。

(主人公「いいから！」)

あっ！

(文弥の手首を引いて座らせる)

無理ですってば……！

おちんちんの気持ちも考えてあげてくださいい……！

(主人公「処女？」)

へっ？ は、はい……私は、処女、です……。

男の人、苦手なので……しょうがないです……っ。

先輩は素敵だと思います……。

思いますけど……っ、私となんてしたら、

非モテの匂いが、おちんちんにくつつちゃいますよ……っ？

あ……っ。

だだだダメです……！

見ちゃいけないやつ、です……ッ！

(主人公「どうしてもやりたいんだ」)

……ッ。

先輩……っ、そんなに、私としたいんですか……？

はあ……口の件はどこに行ったんですかあ……？

……わかりました。

私も、芋卒業します……ッ。

芋を終えて……っ、先輩のおん——

なあッ！

アッ！

ちょっと先輩い……ッ！

い、入れる時は……っ、一声、かけっ——
んう~~~~……ッ！
あっ、ああ……っ！

あっ、あれ……っ？
芋なのにつ、はあ、はあっ、体が、い、意外と、順応してる……？
ふう、うう、うッ、私なんかが、どうして……ッ？
はあっ、はあっ、あっ——

(主人公からキス)

んむう！？
ちゅっ、んうう、ちゅっ！ うッ！ んう、ちゅ！
ご、ごめんなさいっ、チュッ、んん、ちゅ！
私とき、キスしても、ちゅ、ちゅう、気持ちよくないですよ？！

ちゅん、ちゅう、アッ、うう、んむ、ちゅ、ちゅっ！
ふう、うう、ん、ちゅ、チュッ！ アッ、ああっ、ん、ちゅ、んく、ちゅ！
先輩ッ、ううッ、ちゅ、んう、私ッ、んむ、ちゅ、チュッ！
頭が、どーにかなってます……っ！
た、助けて……ッッ！

んむう~~~~……ッ！？
ちゅうッ！ あっ、ああっ、ちゅうううううッ！

ぷはあ！ こ、これ、救いですかッ？
んうううっあっ、あっ、うう、んううッ！
もっと頭おかしくなりますッ！

あああっ、う、ううう……ッ、で、でもっ、んうううう、うっ！
先輩のっ、お、おちんちん、気持ちいいです……ッ！

(主人公「中に出していい？」)

はあっ、はあっ、ん、んっ、な、中？
んう、んう、そのままっ、出すんですか……っ？

はあっ、ん、んうう、あ、あれ？
そういえばっ、避妊って――

アツ！ ああっ、せ、先輩……っ！
ああああっ！ 待って！
私なんかがつ、あっ！ 先輩の赤ちゃん、孕んだらっ――あああっ！
ダメッ！ んううう~~~~~ツツ！

(同時絶頂(中出し))
(文弥、両肩を掴んで顔を俯かせながら(強い快楽に耐えてる))

ンンンンうううううツツ！
アツツ！ ああああ……っ！
せ、先輩いいい……ツ！

でっ、でてます……ツ！
これはっ、あああっ、アツ！ 世に聞くツ、子作り、ですか……ツ？

あっ、ああっ、んう、ん……ツ！
む、胸しか、価値のない私に、ううツ、ん……っ！
赤ちゃん、なんてっ、ああっ、うっ、恐れ多いです……ツ！

はあ、はあ……あ、ああ……うう、う……。
先輩……んう、ん……たくさん……出てますね……。
射精が、好きなんですね……。

んくうう、ん、うう、ん……。
ん、はあああ……んうう……。

ふううう……。
先輩……こ、これって……儀式ですよね……？
あのっ、勘違いだったら死んでお詫びしたいんですが……、

な、舐めさせようとしたのも、全部……私とそういう関係に――
ご、ごめんなさい！
よだれ出ちゃいました！

気持ち悪いですね……ッ！？

で、でも……ッ。

私……ま、待ってます……。

先輩の気持ち……う、受け止めた、ので……♥

●トラック5:CV 天知遥様

●背景:生徒会室(夕方)

(主人公、生徒会室を訪ねる)

ん？ 2年の子？

(主人公「はい。ご相談が」)

相談？ いいよ。

入って。

(主人公「単刀直入に言います……抜いてください」)

……ん？

抜く？ なにを？

(主人公「フェラです！」)

ふえっ——。

(フェラだと気づいて怖い雰囲気が変わる)

……あのね。

交際してもない相手になにを頼もうとしてるの？

それに私は生徒会長の岸浜亜澄。

歴代で一番規律に厳しいという評判……ご存じ？

(主人公「綺麗な人に向いてもらいたいんです」)

……全然話聞いてないじゃない。

いい加減にきなさい。

大体ここは学び舎よ？ たとえ男女交際が良しとされても、妊娠や病気の危険を伴う行為をおいそれと認めるわけじゃない。

(主人公「お願いします」)

しつこいわね。

どうしても気持ちよくないたいの？

なら気持ちよくしてあげるわよ！

ほら！ 踏んであげたわよ？

こういうのがいいんでしょ？

(主人公「うあああッ」)

ほんと、どうしようもない……！

踏まれて嫌がりもせずに……貴方、勃ってない？

ふざけないで。

私は説教してるのよ？

は？

なにしてるのよ。

正気？ 私は怒ってるのよ？

(ペニスが露出)

……変態。

(主人公「恋愛禁止なんですか？」)

ん？ なによ急に。

ええ、うちは恋愛禁止よ。
そもそも貴方がいましてるのはそれ以下の――

(主人公「でも会長は彼氏いましたよね？」)

！？
な、なんで、元カレのこと知ってるのよ……ッ！？

(主人公「自分だけ非処女はズルい！」)

……誰が漏らしたの？
あの恋は黒歴史なのに……ッ！

……はあ。
急にその話をするってことは、取引と言いたいわけね。
いいわ……口ではしない。ただし――

このまま足で……出させるわ。
……はあ。
私に技術を期待しないで。
あの恋愛は……この先も愛してくれると思った浅ましい女が、ダメな男に騙されて処女を捧げ
ただけの話……。
口も手も、そんなに経験ないの。

(主人公「恋愛禁止なのになぁ」)

わ、わかってるわよ……ッ！
恋愛禁止なのに、自分だけそんなことをした……私だって、
処女を取り戻せるならそうしてるわよ……！

……ハア。
とっとと出して。
こんなモノ……卒業するまで触る気なんてなかったんだから……。

(主人公「俺のと元カレの、どっちが大きいんです？」)

……は？ さ、サイズ？
覚えてないわよ……。
そもそも……比較なんてなんの意味があるの。
くだらない……。

さっさと射精しなさいよ。
踏まれ続けて……普通の快感で物足りなくなられても困るのよ。
自分のためにも早めに昂ぶって……、
睾丸に溜まったもの……出しなさい。

(主人公「パンツ見ていいですか？」)

は？ パンツ？
あ、貴方ねえ……！

かつ、勝手に覗けばいいでしょ……！
それ以上はダメ！
触るのも……胸も禁止。

んう……っ、ちょ、ちょっと……！
硬くなってるじゃないの……！
どうして？ パンツを見たから？
パンツで勃起するの？ なにそれ……気持ち悪い。
変態なの？
パンツなんて汚いもの……どうして見るだけで勃つのよ……。

(主人公「先輩はチンポ見て濡れないんですか？」)

ハア？ だ、誰が貴方のを見て濡れるのよ……ッ！
パンツで興奮する貴方と一緒にしないでくれる？
私は健全なの……っ！

規律に厳しく、自分を戒め……卒業まではこの環境を守り、
後輩へバトンを渡す……その役割が、私にはあるのよ。

初対面の女に抜いてなんて、意味の分からない注文をする貴方と一緒にしないで。

はああああ……戯れ言はいいから、さっさと出して。
パンツ見れば興奮するんでしょ？
ならジロジロ見て鼻息荒くしてればいいでしょ！

（主人公「もっと先端を……」）

先端う？ 亀頭でしょ？
亀頭を擦ればイクっていうの？
知らないわよそんなの！
要求は受け付けてない！

イキたいなら見ててあげるわよ！
さっさと出して……情けない声あげちゃいなさいよ！
貴方もどうせ、元カレみたいに汚い声あげて喘ぐんでしょ？
汚い声出しながら「イク」って連呼しながら、
私に卑猥なこと言わせようとするんでしょ？

もうそんなのいいから黙ってイッて！
会長直々に見てあげてるんだから、さっさとイクの！
さあ、出せ！
私に校則違反させたんだから……っ、
その分全部出し切りなさいッ！
イケッ！

（足へぶっかけ射精）

んッ！
あ、貴方ねえ……ッ！
パンストにかかっちゃったじゃないのッ！
ふざけないでよ……ああ……こんなべとべとに……。

溜めすぎよ！ 人に抜けて注文するなら自分で毎日出してなさい！
もお～～～……！
最悪……このパンスト脱ぐわ。
貴方にあげる。

そのパンストの匂いでも嗅いで、オカズにしてくださいよ。
はああ……だから、元カレのことはぜったいに黙ってて。
黙ってなかったら、チンコ折る。いい？

●トラック6:CV 御崎ひより様

●背景:教室(夕方)

(主人公、教室に入る)

あん？
帰ってないんだ？
いっしょに帰る？

(主人公「箕浦は？」)

ん？ アタシはまーた呼び出しされてた。
別のクラスのやつにさ。
知ってる？
アタシ、童貞のマドンナらしい笑
救い求めた童貞がアタシで卒業式したがんの。

(主人公「やってきたの？」)

今日はしてねーよ。
てか誰にでも股開くかつーの。
短小だの早漏だの包茎だの……もう飽きてきたわ。

(主人公「お願いがあるんだけど」)

は？ お願い？ アタシに？
もしかしてアンタも――

(主人公「フェラしてほしいんだ」)

はあ~~~~……やっぱり。

てか、え？

フェラ？ フェラだけ？ なんで？

(主人公「漫画研究会のためだよ」)

ふうん？ 漫研ねえ……。

オモシレーじゃんそれ笑

んむうう！ ちゅっ、チュツ、ちゅ！

ふはあ！

さっきの童貞坊主よりは手応えありーだし——

しゃぶってやるよ♡

早く見せろ♡

さ～て、どんなチンポだ～？

(ペニスが露出する)

お？ マジでいいじゃん？笑

(即尺開始)

あむう~~~~、ちゅるるる、チュツ！

んむむうう！ ちゅ、ちゅんん、ちゅる、チュツ！

んぷ！ ちゅっ、ちゅんん、チュツ！ ズズズツ、チュツ！

めっちゃいいじゃん♡

んぷう、チュツ、ちゅく、チュツ、んんうう、ズズズツ！

ちゅう~~~~ツ、ちゅる、ちゅん、んう、ちゅっ、いいわ～。

ちゅぶん、チュツ、んんむ、チュツ、ちゅ、んん、ちゅ、ズズズズツ！

これ、ちゅんん、ちゅん、チュツ、チュツ！

セックスしたら、ちゅる、ちゅうツ、

マン壁、んんむう~~、チュツ！ めっちゃ広がりそう♡

んぷ、チュツ、ちゅんん、ちゅ、んむ、ちゅ、チュツ！
ずるる、ちゅんん、ちゅ、んぷ、ゅんん、ちゅ、ちゅ……ツ！
ちゅう〜〜〜〜〜〜ツ！
はあ……。
床に寝ろ♡

(主人公「なんで？」)

さっさとしろ♡
舐めてやったんだからアタシの命令も聞けや♡
あはは♪ 寝ても上向きじゃん笑
ちな……生だから♡
飢えた獣ってのはさ、全部食うんじゃねーんだわ。
食べれるものにしゃぶりつく♡
あああああああ……ツツ♡

んう〜〜ツ！ めっちゃいいじゃ〜んツ笑
んんううん、ん……っ、くっっそ硬え……♡

ンアアアアツ！ はあっ、あっ、あ〜〜ツ！
めっちゃシコいツ♡
はあっ、はあっ、ん、んう！ いつもオナんね〜けどっ、
アツ、あっ！ これ、ぜってえ忘れらんないチンポだわツ♡
オカズ確定えツ♡

はあっ、ん、んうツ、ん、んうう！
あっ、ああツ、んん、んう♡
このチンポで何人成功したんだよ？
はあっ、はあっ、ん、んう、百発百中じゃなきゃありえねツ♡

ん、んうう、んっ！ これからは、ヤリマンのお墨付きって言っとけ♡
はあっ、ん、んう、んう、ンツ！

お前のマンコ、ぜってえ満足させるってさあ、
ん、んツ、ん、んうツ、そーすりゃ股開かないマンコないだろ♡

んんん、ンツ、むしろ、股開かないヤツ、ただの腐れマンコだわぁッ♡

あああああッ。

んん、んう、はあ、はあ、んん、んくう、ん、んうう、んう、ん……ツ。

んんん、んく、ん、んツツ♡

やべえ、一回イクわッ♡

手え、貸せ♡ 繋いどくからッ♡

(手を繋ぐ)

はあッ、はあ、イクぞ～？

んう～～～～～ッ！

アッ、あッ、あッ、ああッ！

あ～～っ！ このチンポの童貞、奪いたかったんだけどおッ♡

んうううう、ンツ、んうううツツ！

てか言えよおッ♡ いいチンポ持ってるってさあ！

そーすりゃもっと早くやらせてやったのにいッ♡

はあッ、はあッ、んう～～ツ、んあああッ♡

イクツ、ああッ、はあ、はあッ、んん、んく、んううツツ！

出せッ♡ ああッ、はあ、はあッ、マンコに出せッ♡

んう～～～ッ！

チンポ殺すチンポ殺す殺すうんうううううッ♡

あ～～～ッ！

いぐう～～～～～～～ッツ！

(同時絶頂(中出し1回目))

んああああああッ！

アッ……！ ああッ！

はああッ……はああッ……う、上向いてんのにさあ、

ああああ、あッ、スゲえ……子宮に来んだけどお……ツ♡

んはあああ……あああ、あああ……。
スゲえの、持ちやがってえ……。

んぐう～～～ッ！
もう一回いいッ、濃いの出せやッ♡
ああああッ、んうううッ、あッ、ああッ！
はあ、はあッ、んう～～～ッ、ん、んううううッ♡

ほんとなーにがフェラだっつ～のおおおッ♡
マンコ一択だろうがあッ♡
はあッ、はあッ！ もう二度とマンコ以外に入れんなあッ♡
んああッ、ンッ！ ん、んうううッ！

マンコ以外出入り禁止いいッ♡
アアアッ、ん、んうう！ このチンポは、マンコじゃなきゃ美味しくねえだろうがよおおッ♡
んああッ、やばいッ、ああッ、うッッ！

すぐイキそ～になんだけどおおッ！
はあ、はあッ、んん、ンッッ！
来るッ、うんううう、あッ、あああ……ッッ！

やべえやべえッ、あああッ！
マンコってかッ、ああッ、アッ！ アタシが死にそ～になんだけどおおッ♡
でもいいやッ！

はあッ、はああッ！ こんないいチンポとやれてんだしいッ♡
一生に悔いねえよお♡
あああッ、イクうううッ！
また来いいッ♡ ああッ、はあ、はあッッ！

種付けされてももういいわあッ！
出せええッ！ 人生かけて締めつけてやっからあッ♡
あああああああッ♡
またイクッッ！ いぐう～～～～～～～～～ッッ！

(同時絶頂(中出し2回))

んああああツツ♡

んう〜ツ、んんううツ♡

アツツ——はああ、はああ……んくツ！ うううつ、ん、んうう……ツツ♡

またつ、ああつ、ん、んうう……ツ、

いいい、息、詰まる……ツツ♡

んう、ん、はあ、はあ……んん、んく、うう、ん……ツツ。

ん、んう……ん、んう……気持ちよすぎた……つ。

んううう……つ。

(艶からキス)

んむうう、ちゅ、んん、ちゅ、ちゅうう、チュツ。

んぷ、ちゅん、ちゅ……。

はああ……♡

いいセックスあんがと……♡

今日から、彼氏決定な♡

童貞食いは今日まで♡

今日から……このチンポー筋でイクわ……♡

●トラック7:CV 餅梨あむ様

●背景:科学部部室(夕方)

(都々音、科学部部室にいる)

んあ？ キミはだれ？

(主人公「お願いがありまして」)

お願い？ キミ、下級生かなあ。

……あ、待て待て。

思い出した。

キミ、女子の間で噂になってる子かぁ。

聞いたよ～？

フェラ、だっけえ？

ポコチン舐めてもらおうとしてくるやばい男子……聞いた時は怪談みたいなもんかと思ったけど……実在するのかぁ。

ついに科学部のもとにも来たってわけかぁ。

(主人公「抜いて、くれますか？」)

抜き、ねえ。

興味あり♥

男子ってものにね～？

私、科学部だから、

(ペニスが露出する)

(ペニスを見て思わずよだれが出る)

デュフ♥

じゅる♥

こういう……ポコチンにも興味津々なんだ♥

スンスンスンッ！

うはああ……ッ♥

はあああ……♥

臭い……♥ 臭いけど……実物からしか味わえない魅力がある……♥

スンスンスンッ！

ああアッ♥ いいッ♥

スンスンスンッ！

マンコも踊るうッ♥ ああアッ♥

我慢できないよお……♥

んむううう、ちゅん、チュツ、チュツ！
んぷぷ、ちゅん、ちゅっ！
これから、んむう〜〜っ、ちゅっ！ ポコチンの研究だ♡

ちゅう〜〜ツ、んんむむうう、チュツ、ちゅるるう、チュツ！
んぷ、ちゅん、ちゅっ、んぷうんん、チュツ！
んぷ、んんむ、ちゅ、んん、ちゅ……ちゅる、ちゅん、チュツツ！

お？ んんむうちゅ、ちゅ、舐めると、ちゅううう、ちゅ、
熱くなってくるね？
ちゅんん、ちゅん、ちゅツ、ちゅんむう、チュツ！
むふ♡ ちゅる、ちゅん、ちゅっ、啜えながら、変化を知れる♡

んぷうう〜〜〜っ、ちゅんん、ちゅっ！
んむんん、ちゅる、ちゅん、ちゅ……ツ、ちゅるる、チュツ！
ポコチンとは、かくも不思議な物体……んむう〜〜〜っ、ちゅ、
いや、自立稼働型の生物という感じだ♡

ちゅんううう、んむ、ちゅツ♡
んく、ちゅっ、ちゅうう、種はどんな味なのか。
ちゅる、ちゅんん、チュツ、ちゅるる、ん、ちゅ、どこを刺激すれば、
ちゅるっ、んんう〜〜っ、ちゅ、種まきの時間は来るのか……。
ちゅう、んむ、ちゅツ、んぷ、ちゅん、チュツ。

ぷはあッ♡
はああ♡ どうかな？ 期待に応えられてるかな？
キミも、キミなりの研究のために求めてきたんだろ？
なら、私と同類だねえ。

でも、私に求めたのは正解だ。
私も……エロいことは好きだから♡

(亀頭を舐める)

れろれろれろれろ、ほら……♡
ちゅ、れろれろ、亀頭を舐めてるよ？

れろッ、ちゅん、ちゅ、よだれを垂らしたスケベ顔の女が、
れろっ、ちゅん、ちゅっ、じょうろの入り口、ちゅう、ちゅう、
さきっちょで舐めてる♡

れろれろッ、ちゅ、ちゅん、ちゅ。
れろ、れろ、んん、ちゅ……私、こんな余裕見せてるけどね、
ちゅる、ちゅ、ん、れろ、れろ、パンツが濡れてる♡

れろ、れろ、ん、ちゅ、人の性器を舐めると、
れろれろれろ、ちゅん、ちゅ、チュツ、女は濡れる……。
れろ、れろ……いいことが学べたよ♡
れろ、れろ、んん、ちゅん、ちゅ、マンコが種を欲しがる前に、
イカせてあげないとね。

ちゅん、ちゅる、ちゅ……れろ、れろ。
さ、だいぶ理解できたし……そろそろ終わらせよう。

ちゅぶう〜〜〜〜ッ！
ちゅんんん、ちゅ！ んむう、ちゅぼ、ちゅ、ちゅううううッ！

んふふふ、ちゅ、ズズズッ、ちゅんん、ちゅるう〜〜ッ、チュツツ！
んふ、ちゅぼぼぼ、ビュッ、ちゅるんんん、ズチュツ！
チュツ！ んう〜〜ッ、ちゅる、ちゅううううッ！

ふう、ふう！ んう〜〜っ、ちゅんんん、チュツツ！
一心不乱にい、ちゅううう、チュツ、最後まで舐める♡
ちゅぶふふふふ、チュツ、もちろん、口の中に出して♡

ちゅう〜〜〜っ、んむう、チュツ！
種の味と、ちゅる、んん、チュツ、射精時の熱を知りたいから♡
ちゅぼおおっ、ちゅん、ちゅううううッ、んふッ♡
ちゅる、ちゅ……ッ、ちゅぶふふふ、ちゅうっ！

(主人公「で、出る……ッ」)

ちゅうう、チュツ、よし、出るなら出たまえ♡

ちゅう～～ツ、んんむうう、チュツツ！

採取だよ♡

ちゅるる、んん、ちゅゅ！

種をつ、ちゅるううう、んむう、チュツツ♡

私に、搾らせなさい♡

さあ、ちゅる、ちゅんん、チュツ、さあ♡

ちゅぶぶうう～～～～～～～～ツツ！

(口内射精)

んぷうううツ！？

ぶびゅツツ！ けほツ！ んふふ♡

これが射精……♡

んぷうう……ん、んうう、ん……けほ、んん、んう……。

ふうう、ん、んうう、ん……ああ……んん、ん……気持ち、い……♡

んん、ん……ズズツ、ちゅ、うぷうう、ん、んう……。

そろそろ、いいかな……？

ぶひゅ……っ！

ふう～～……♡

どれ、種の味は……。

くちゃ、くちゃ……くちゃ……くちゃ。

粘度があるんだねえ……んんう、臭みが強くて、主食にはできなさそう。

さて——

ごくツ、ごくツ……ごくツ、ごく……ツツ。

はあ～～ツ♡

不味いけど、独特な味がクセになる！

種というだけあるね～♡

子宮に入った時、この臭みに支配されて……私達女は孕むんだねえ。

ねえ？

次はセックスでもしようか？

中出しの快感、知りたいんだよな。
デュフツ♥

●トラック8:CV 沢野ほづら様

●背景:生徒会室(夕方)

(遅れて恋箔(こはく)が入ってくる)

あら？ どなた様？
会長に
用ですか？

(主人公「はい……会長に色々怒られてて」)

うふ。会長を怒らせちゃったんですか～？
それで反省文、を。
亜澄(あすみ)さん、規律に厳しいけど女性ファンも居て、人気のある人なんですよ～。

でも怒るとすっご～く怖いから、
もう怒られないように言われたことはちゃんと守るね～。

(主人公「先輩は？」)

わたくし？ わたくしは西篠恋箔(にしじょうこはく)です～。
書記をしてるんです。

(主人公「あ、学園で一番綺麗だって」)

い、一番綺麗は誇張しすぎですよ～？
ほ、ほら、2年の大野さんの方が……ね？

(主人公「美人なら是非叶えてほしいことが！」)

お、お願い？ 会長を待ってるんですよね？
わたくしでいいんですか？

(主人公「口で抜いてください！」)

……ん？ く、口？ 抜く？
あの……どうということ？

(主人公「フェラです！」)

ふえら……ふえら……？

(思い出して恥ずかしくなる)

だ、ダメですよ！？
そんな……っ、い、いけません！

(主人公「知ってるんですね」)

し、知ってます……っ。
花嫁修業で、ほ、奉仕とか学ぶので……！

(主人公「花嫁修業！？」)

はい……わたくしの家庭、少し特殊でして……。
わたくし、将来を共にする予定の方がいるので……そのための、男性奉仕を……。

そんな話、関係ありませんでしたね……！
早く反省文書いてください！
わたくし、外に行ってま——

(主人公「お願いします！」)

あっ！ だ、だから、わたくしはダメですって……！

(主人公「お願いします！」)

……そんなに頼み込んで……よほどの事情、あるんですか……？

(主人公「はい……言えないくらいの事情が」)

い、言えないほどの事情……？

奉仕を求めるための事情……う、うーん……。

はあ……。

わかりました……あまり大きな声を出されても困りますし、
執拗に求める貴方が可哀想な気がしたので……や、やります……。
どのみち、わたくしも練習が必要でしたので……。
……それで、ど、どうすれば……？

(主人公「しゃがんでください」)

は、はい……。

……こう、ですか……？

ひゃ……っ！

あ、そ、そっか……。

出さなきゃ舐め——

(ペニスが出る)

う……っ！

い、いま、すごい勢いで……。

う……恥ずかしい……っ。

こんなの……舐めるなんて……。

(主人公「花嫁修業ですよ」)

……そ、そうですね……花嫁修業……。

凡庸な花嫁生活を送っていては、西篠家(にしじょうけ)の女として嫁げない……。

舐めます……っ。

(舐めフェラ開始)

れろ……。
う……っ！
こ、こんな、舌触り……っ！
れろ……ん、れろ……う、ん……れろ……れろ……。
ん……れろ………ん、ちゅ……。

練習とは、お、大きく違いますね……。
れろ……ん、う、れろ、れろ……反応も、また……れろ、れろ……。
わたくしの舌に……れろ、れろ……んん、れろ……、
適宜反応を……。

ん、れろ……れろ……れろ………れろ……ん、ちゅ……。
んむ、ちゅんん、ちゅ……れろ……れろ……。
どう、ですか……？
あの……ちゅ、れろ、れろ……いつまで、舐めれば……。
れろ、ん、ちゅ………れろ……れろ……。

(主人公「もういいですよ」)

へ？ もう？
んう……い、一応感謝します。
婚約者と、こうする前に一度、経験できて……。

(主人公「挿入はどうですか？」)

そ、挿入……？
わたくし、処女です……。
それを捨てたとあらば……西篠家の一人娘がふしだらな女と思われれます……。
なので、そこは、ちょっと……。

(主人公「未来の旦那さん、満足させたくないですか？」)

……それは——は、はい……。

彼を、満足させたい……彩り溢れる日常をともにしたい……。
わたくしの本心です……。

(主人公「なら経験した方がいいです」)

……ですが、貴方と経験して、わたくしの処女膜がなくなったら――

(主人公「膜なんてないですよ」)

へっ？ 膜って、存在しないんですか？
一説には、血がかなり流れるとか……。

(主人公「壁の小さい膜が切れて血が出るらしいです」)

な、なるほど……覆うような膜はなくても、
それに近いなにかがあるから、出血する……と……。
で、でしたら……処女は概念……？

(主人公「経験、しません？」)

……あ、あの、キスはダメですよ？
それでしたら……い、一応、経験、してみたいです……。

机に乗るなんて、はしたないですが……、
この格好で……どうか……。

んう……。
あ……っ、
待ってください……っ！
ひ、避妊具が――

んう～～～～～～～～……ツツ！
あっ！ ああ……ツ！

ひ、避妊、してないじゃないっ、ですか……ツ！

んう～～ツ！
あつ、うう、んんうう……ツ！
やだつ、あつ！ ああつ！ い、痛みがつ、ああ、ううツ、うツ！
全然、ない……っ？

んううツ、う、ううううツ、む、むしろつ、はあつ、はあ……ツ！
いえ！ なんでもありません……ツ！
ふう、ふう！ ううう、んう、うううツ、んツ！

顔つ、見ないでください……っ！
ううツ、んんうう……ツツ！
見たらツ、はあつ、はあつ、い、いま、キスを、しそうになりました……ツ！
いけません……っ、それ、だけは……っ！

うううう、んうツ、ううツ、うツ！
ふう、んん、んく、んうう、うツツ！ ふう、ん、んうう！
あつ、うう、ん、んツ、んうう、んっ！

ふ、ふしだらかもしれません、が……っ、
ああつ、う、ううううツ、お、おちんちんつ、に……ツ、
中が……ツ、引っ張られて、ます……ツツ！

んううツ、うツ、アツ、うぎゅツ！ うツ！
まるでっ、うう、うツ！ 吸いついてるみたいになツ、ああつ、う、ううツ！
わたくし……ツ、ああつ、うツ、くつついて……ツツ！

(主人公「ペースあげますよ？」)

はあつ、うツ！ ペ、ペース、あげる？
んう、うっ！ 待って、くださいっ、もうっ、終わってください……ツ！
はあつ、はあつ、ああつ、うツ！
わたくしっ、体がツ、熱くてツ、おかしいんです……っ！

ンう～～～～ツ！
待ってください！ あああああツ、やだつ、アツ、んぎゅうツ！
わたくしツ、ああつ、うツ！ んう～～～～ツ！

ああっ、貴方のおちんちんでッ、あつ、ど、どんどんっ、不可解なッ、心地をおッ！

んう～～ッ！

あああッ！ はあ、はあッ！ うう、んう、ンツツ！

んぎゅッ！ うう、ん、んううッ！ ふう、んんううッ、うツツ！

待ってえッ！

(主人公「出ます！」)

んううッ、んっ！ えッ？ いっ、いまッ、なんてっ？

はあっ、はあっ、で、出る？ 出るって言いましたかッ！？

(主人公「中に出していいですよね！」)

うう～～ッ、んッ！ な、中はダメッ！

うんんううう、ンツ！ アッ、アッ！

赤ちゃんデキちゃう！

あああああッ！ んう～～～ッ、んううんツツ！

ああッ！ 待ってええええッツ！

デキちゃうう～～～ッ！

ああああッ、ダメえええええええッツ！

(同時絶頂(中出し))

んう～～～～ッ！

アツツ——んぎゅうう！

アツツ！ ううう、ンツ！ はふッ、あ、あああ……ッ！

なんとっ、愚かな……ツツ。

ああっ！ うううッ、んくうう、ん……ッ！

はあっ、はあ……っ、んうあっああ……ううう、ん、んうう……ツツ！

はあっ、うう、ん……ツ。

ぜ、絶対に、誰にも言わないでください……。

こんなっ、あつ、ん、もしデキてしまって中退なんて未来……、

西篠家に居られません……。

んう、う、その時は、ちゃんと貴方が責任取ってください……っ。
責任を取り……っ、わたくしの夫になる覚悟を持つんです……っ！
んううう、ん……っ、処女を捧げたのですから……、
んう、いっそ……その未来も、想定しておきます……。

はあああ……。
わたくし……ほんとうにおバカ……。